

1

中央会月刊誌



中小企業かごしま

2017 第739号

- 特集1: 「消費税軽減税率制度」が実施されます!
- 特集2: 健康経営始めてみませんか?



いぶすき菜の花マラソン

業務災害補償制度のごあんない

業務災害への備えは お済みですか？

例えば、こんな心配にお応えします

事故防止は徹底しているが、万一の重大事故が心配だ

万全の注意を払っていても、死亡・後遺障害の発生確率はゼロではありません

ちょっとしたケガが多くなってきた

従業員向けの福利厚生制度の充実が、安心して働ける環境を作ります

パート・アルバイトの保障も考えなければ…

！
あります

全国中小企業団体中央会の

業務災害補償制度 (※1) であれば、

万一の業務災害から企業経営を守ります。

さらに、個別で加入するより

最大約53%割安 (※2) です。

(※1) 業務災害補償制度は、傷害総合保険・労働災害保険（使用者賠償責任条項）で構成されています。

(※2) 団体割引30%、過去の損害率による割引30%、役職員一括契約割引10%として計算した場合。

本制度は、全国中小企業団体中央会が契約主となり、損害保険ジャパン日本興亜、東京海上日動火災保険、あいおいニッセイ同和損害保険、三井住友海上火災保険が引受保険会社となって募集します。

詳細については、鹿児島県中小企業団体中央会
(099-222-9258)まで ご連絡下さい。

CONTENTS

年頭所感	2
鹿児島県中小企業団体中央会会長	小 正 芳 史
鹿児島県知事	三反園 訓
鹿児島市長	森 博 幸
日本銀行鹿児島支店長	林 健 司
商工中金鹿児島支店長	堂 園 哲 也
全国中小企業団体中央会会長	大 村 功 作
特集1 「消費税軽減税率制度」が実施されます!	8
特集2 健康経営始めてみませんか?社員は会社の宝 健康経営で業績もアップ	11
～ 協会けんぽと取り組む健康経営 ～	
年賀広告	15
中央会の動き	27
● 中央会年始会を開催	
● 「組合事務局代表者研修会」を開催	
～個人型確定拠出年金の制度変更と留意点・これからの金融機関と組合組織の役割～	
● 会員懇談会を開催 ～鹿児島県中小企業団体中央会女性部会～	
● ボランティア事業を実施 ～鹿児島県中小企業団体中央会青年部会～	
トピックス	30
● 本場大島紬フェスティバルを開催 ～本場大島紬織物協同組合～	
教えてぐりぶー!組合運営	31
● 第33回「消費税の課税事業者」について	
業界情報	32
平成28年11月 情報連絡員報告	
倒産概況	34
平成28年12月 鹿児島県内企業倒産概況	
中央会関連主要行事予定	36

幸せを、かさねていける場所

展望露天温泉 さつま乃湯

景観一望、桜島。

標高108mから望む活火山「桜島」、錦江湾、そして鹿児島市街地。
絶好のロケーションと最上のくつろぎ・・・。



HOTEL SHIROYAMA

城山観光ホテル

K A G O S H I M A

鹿児島市新照院町 41 番 1 号 www.shiroyama-g.co.jp TEL.099-224-2211

年頭のご挨拶

鹿児島県中小企業団体中央会 会長 小正 芳史



新年明けましておめでとうございます。

皆様におかれましては、平成 29 年の新春を健やかにお迎えのことと、心よりお慶び申し上げます。

旧年中は、中央会の事業推進に際し、格別のご高配を賜りましたこと、深く御礼を申し上げます。

特に、昨年 9 月 8 日に本県で開催いたしました、「第 58 回中小企業団体九州大会」及び「ものづくりフォーラム' 2016」におきましては、県内外から多数のご出席をいただき、盛会に開催することができました。

九州大会では、「組合と共に明日を拓く！～九州はひとつ、復興へ共に挑戦～」をテーマに掲げ、4 月に発生した熊本地震からの早期の復興と中小企業・小規模事業者が地方経済の担い手としての役割を果たせるよう、一層の支援を国に要望いたしました。

さて、我が国の経済は、大企業を中心に回復傾向にあると言われておりますが、地方経済を支える中小企業者には波及効果が行き渡っておりません。

さらには、人口減少や少子高齢化がますます深刻化すると予想されており、若年労働者確保の厳しさが増すなど、人手不足感が一層高まっております。

そのような中、本会では「ものづくり補助金」の地域事務局として、この 4 年間で延べ 500 社以上の県内中小企業者に対して、40 億円近い設備投資を後押しいたしました。

また、国の第二次補正予算が成立し、「平成 28 年度補正ものづくり補助金」がスタートしております。政府の切れ目のない施策により、県内経済のさらなる発展に貢献できるものと確信しております。

加えて、平成 29 年度の国の当初予算案では、中小企業等による内外需要開拓と地域未来投資を主軸とした政策が予定されております。

今年は「酉年」であり、商売繁盛やこれまでの成果が実る年と言われております。

私ども中央会といたしましても、組織化施策を中心とした様々な支援メニューを通じて、県内中小企業者の振興と発展に役職員一丸となって全力で取り組んで参りますので、より一層のご支援、ご協力の程をお願い申し上げます。

結びに、皆様方が今年一年を健康に過ごされ、希望に満ち溢れた素晴らしい年となりますことをご祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

「新しい力強い鹿児島」の実現に向けて

鹿児島県知事 三反園 訓



謹んで新年のお慶びを申し上げます。

鹿児島県中小企業団体中央会の皆様には、中小企業の連携支援や事業協同組合等の育成・強化に努められ、本県中小企業の振興と地域経済の発展に多大な御貢献をいただいております。深く敬意を表しますとともに、県政の推進につきまして、格別の御支援・御協力をいただき、心から感謝を申し上げます。

引き続き、中小企業の多様で活力ある成長を実現するため、指導団体として力を発揮していただくとともに、本県中小企業団体の一層の発展のために御尽力くださるよう期待しております。

昨年は、7月の知事就任直後の熊本・宮崎両県知事との会談をはじめ、県民目線による県政推進の足掛かりとするため、県内各地に出向き、県民との対話や各種視察等に全力を傾注しました。

また、本県の一流の素材を売り込むため、国内外におけるトップセールなど、走り続けた年でありました。

我が国において、グローバル化が急速に進展し、本格的な人口減少、超高齢化が進行する中、地方の魅力や資源を最大限に活用するためにも、地方創生は国と地方が二人三脚で取り組まなければならない課題であります。

県では、鹿児島の自然、食、歴史など、全国へ世界へ誇れるすばらしいものを活かし

て、国内外の多くの方々に鹿児島に来ていただけるよう、観光振興を図るとともに、魅力ある産業づくりや雇用創出、すべての県民が夢と誇りを持てる新たな未来につながる地域づくりに取り組み、「生まれてよかった。住んでよかった。」と思える鹿児島を全力で目指してまいります。

また、本県におきましては、1年後に迎える明治維新150周年や、3年後の「燃ゆる感動かごしま国体」などイベントが目白押しであり、鹿児島の元気を発信する絶好の機会であると考えております。

特に、明治維新150周年の節目の年となる2018年には、NHK大河ドラマ「西郷どん」が放送されることとなり、今後、大々的なイベントや各種プロモーションなど様々な取組を戦略的に進め、鹿児島の活性化につなげてまいりたいと考えております。

知事就任2年目の今年も、時代の変化に的確に対応しながら、「新しい力強い鹿児島」の実現に向けて、全力を挙げて取り組んでまいりますので、皆様には、引き続き県政に対する御理解・御協力をお願い申し上げます。

年頭に当たり、鹿児島県中小企業団体中央会並びに県内各組合のますますの御発展と、皆様にとりまして、新しい年が実り多き一年となりますよう、心から祈念いたします。

「豊かさ」実感都市・かごしま」のさらなる飛躍に向けてチャレンジ

鹿児島市長 森 博 幸



平成29年の新春を迎え、謹んでお慶びを申し上げます。

鹿児島県中小企業団体中央会の皆様方におかれましては、かねてから本県中小企業の振興・発展のため、組合組織の強化や労働環境の改善、人材育成等、幅広い活動に組織を挙げて積極的に取り組まれ、大きな成果をあげておられますことに深く敬意を表しますとともに、日頃から各面にわたり市政への温かいご理解とご協力を賜っておりますことに、深く感謝申し上げます。

私は、先の市長選挙におきまして、鹿児島市長として、4期目の市政運営の重責を担わせていただくことになりました。「市民が主役の鹿児島市の実現」を基本理念に、市民の皆様と共に考え、共に行動しながら、持てる力と情熱のすべてを傾注し、引き続き市政運営に邁進してまいりますので、皆様には更なるお力添えを賜りますよう、よろしく願い申し上げます。

さて、我が国の人口減少は今後一段と加速し、経済規模の縮小や地方都市の衰退等が危惧されており、本市の人口も60万人を下回るなど、人口減少問題の克服に向けた実効性を伴う施策を展開していくことが喫緊の課題となっております。

このような中、本市では、昨年、本格始動させた地方創生の取組に加え、今年は、人口減少局面への移行を前提とした第五次総合計画について、その後期基本計画がスタートいたします。これらの着実な推進に取り組む、「豊かさ」実感都市・かごしま」の実現に向け、力強く前に進んでまいりたいと考えております。

そのため、「次の時代」の到来を見据え、「しごと」が「ひと」をよび、「ひと」が「しごと」を呼び込む好循環を確立するとともに、これを支える「まち」に活力を呼び込むことに、果敢にチャレンジしてまいります。

今後、本市には、明治維新150周年やかごしま国体の開催、中心市街地における大規模な再開発など、まさに平成における「維新の波」が訪れようとしています。これらの機会を生かし、都市の豊かさを将来に引継いでいく、次代の「まち」づくりにチャレンジしてまいります。

また、妊娠・出産・子育ての切れ目ない支援、郷土への誇りと愛着の心を育む「ふるさと教育」の推進など、次代の「ひと」づくりにチャレンジしてまいります。

さらに、企業立地の推進や産学官連携による推進体制の整備、新産業の創出など、魅力的で安定した、次代の「しごと」づくりにチャレンジしてまいります。

今年は、4期目の実質的なスタートの年となります。これからも、本市が世界に冠たる「豊かさ」実感都市・かごしま」として飛躍していくために、それぞれの施策の推進に強い情熱とチャレンジ精神を持って、全力投球してまいります。

皆様方におかれましては、本市経済の持続ある発展のため、引き続きご尽力を賜りますようお願いいたします。

鹿児島県中小企業団体中央会のますますのご発展と、新しい年が皆様方にとって、夢と希望の持てるすばらしい年となりますよう心からお祈り申し上げ、新年の挨拶といたします。

年頭のご挨拶

日本銀行 鹿児島支店
支店長 林 健 司



2017年の新春を迎え、謹んでお慶びを申し上げます。

日本経済は、現状、緩やかな回復基調を続けています。また、海外経済は、新興国の一部に弱さが残るものの、緩やかな成長が続いています。この間、日本銀行は、昨年9月に金融緩和強化のための新しい枠組みである「長短金利操作付き量的・質的金融緩和」を導入しており、引き続き金融緩和を強力に推進しています。

先行きの日本経済は、海外経済の改善や、きわめて緩和的な金融環境と政府の大型経済対策等を背景に、0%台前半とみられる潜在成長率を上回る成長を続けていくと見込まれます。もっとも、米国経済の動向やそのもとの金融政策運営が国際金融市場に及ぼす影響、英国のEU離脱問題の帰趨とその影響、中国をはじめとする新興国・資源国経済の動向など、海外経済の動向に不確実性が高い点などには留意が必要でしょう。

鹿児島県経済は、緩やかに回復しつつあり、昨年の12月短観（短期経済観測調査）をみても、企業の景況感的良好な状態を維持しています。また、有効求人倍率が統計開始以来最高の水準となるなど、労働需給は一層引き締まった状況となっており、ベアの実施や賞与の増額等により所得環境も改善しています。そうしたもとで個人消費は底堅く推移しているほか、住宅投資および公共投資も持ち直しています。観光関連は、熊本地震の影響により一時は大きく落ち込みましたが、その後「九州ふっこう割」など各種観光支援策が実施されるもとで回復をみせました。

本年も鹿児島県経済は、前述のように日本経済が回復していく中で、緩やかな回復過程を辿ると見込まれます。来年は明治維新150年に当たり、NHK大河ドラマ「西郷どん」も放映されますが、本年は鹿児島県経済の回復の勢いをどの程度高めていくことができるかが問われる年になるでしょう。鹿児島の強みである農畜水産業や食料品加工業などの付加価値を高め、県外そして海外への展開を強化することも期待されます。また、観光については、本年初から「九州ふっこう割」の効果もなくなる中で、国内観光客だけでなく外国人観光客の観光需要もしっかり取り込んでいくことが従来にも増して求められることとなり、受入れ体制の強化などの取組みも必要となるでしょう。このように鹿児島県の経済を考える上で、海外との関わり方もより重要性を増していくと考えられます。

人口減少や高齢化が進む中で人材をどのように確保していくかなど、地方経済が抱える課題も引き続き大きい状況にあります。政府による成長戦略や構造改革だけで持続的な成長が実現できるわけでもありません。かつての薩摩藩士がそうであったように、変革に向けて果敢に挑戦し、民間によるイノベーションを実現していくことが重要となります。

本年が皆様にとって実り多き年となることを祈念して、新年のご挨拶とさせていただきます。

年頭のご挨拶

株式会社 商工組合中央金庫
鹿児島支店長 堂園 哲也



平成29年の新春を迎えるにあたり、所感の一端を申し述べて年頭のご挨拶とさせていただきます。

まず、昨年のが国経済を振り返りますと、良好な雇用環境が続いたものの、消費者マインドの悪化から個人消費には弱さが見られました。海外経済の減速懸念から輸出は低迷し、設備投資も弱い動きとなりました。また金融市場の動揺を受け、回復には停滞感がみられました。

商工中金の「中小企業月次景況観測」によると、景況判断指数は「好転」「悪化」の境目である50をやや下回る水準で一進一退の動きとなりました。人手不足を感じる中小企業は多く、労働需給の逼迫による人件費負担の増加等が引き続き懸念されました。

このような環境のもと、商工中金は平成28年熊本地震により被害を受けた中小企業の皆さまをはじめ、様々な要因で業績や資金繰りに不安を抱える中小企業の皆さまに対し、組織をあげて危機対応業務を中心にセーフティネット機能の発揮に最大限の対応を図り、中小企業の皆さまの資金繰りや経営の安定化へのサポートを通じて、地域の雇用維持、経済の安定に貢献できるよう、取り組んでまいりました。

中小企業の皆さまの企業価値向上に関しては、ものづくり補助金や中小企業等経営強化法をはじめとする国の設備投資促進施策と連携するとともに、戦略的な海外展開を行う中小企業や地域経済への波及力の高い地域中核企業、地域資源の活用にも他の事業者と連携して取り組む中小企業や中小企業組合に対し、地域金融機関等と協調しながら、リスクマ

ネーを供給してまいりました。また、幅広い業種・業態において事業再編や構造改革の動きが加速することが見込まれる中、「海外展開支援」、「M&A」、「事業承継支援」、「ビジネスマッチング」等への取組みを強化してまいりました。

再生支援については、各支援機関との連携を一層強化し、経営改善計画の策定支援やそのフォロー等のコンサルティング機能の発揮、抜本的な再生支援、金融取引の正常化とその後の成長支援に取り組んでまいりました。

商工中金としては、引き続き皆さまからのご相談に対して、懇切、丁寧かつ迅速な対応に努め、セーフティネット機能の発揮に全力を挙げて取り組んでまいります。また、商工中金の強みであるネットワーク機能、総合的な金融機能を結集し、グループ一体となって中小企業と中小企業組合の皆様の成長、再生支援等に全力で取り組みます。こうした取り組みを、地方公共団体、地域の金融機関等の地域の各機関と幅広く連携しつつ、地域の面的なものにつなげ地域経済の活性化に貢献してまいります。

今年は支店開設70周年を迎え、また新店舗披露も予定される節目の年になります。「中小企業の、中小企業による、中小企業のための金融機関」として、これまで以上に皆さまから信頼され、お役に立てるよう、職員一同、全力で努力を続けてまいりますので、今後とも格別のご指導とお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

年頭にあたり、皆さまのご繁栄とご健勝をお祈りいたしましてご挨拶といたします。

年頭に当たって

全国中小企業団体中央会 会長 大村 功 作



明けましておめでとうございます。平成29年の年頭に当たり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

平成28年を振り返りますと、英国のEU離脱表明、米国のトランプ氏の大統領選の勝利など様々な事象による国際経済の不透明感が増す中、国内では、少子高齢化・人口減少による国内市場の縮小と実需全体の収縮や、熊本、鳥取、福島での相次ぐ地震、北海道や東北地方を襲った台風・豪雨による天災などもあり、多くの中小・小規模事業者は、非常に厳しい経営を余儀なくされ、景気回復の実感が得られない年でした。

他方、中小企業等経営強化法の施行、消費税法の改正による引上げの実施時期と複数税率制度導入の延期、TPP協定整備法の成立、IoTやAIをはじめとするデジタル化など、中小・小規模事業者を取り巻く環境は、想像を超える速さで変革しています。

政府は、「ニッポン一億総活躍社会」を閣議決定し、安倍総理の強いリーダーシップの下、「働き方改革実現会議」等において、同一労働同一賃金などの非正規雇用の処遇改善、賃金引上げと労働生産性の向上、長時間労働の是正、転職・再就職支援、人材育成などの改革に取り組んでいますが、私も同会議のメンバーとして意見を申し上げてきたところです。人手不足が深刻化していますが、元

気な中小・小規模事業者は、多様な人材を育成し、活用していることを実感しています。

こうした中、昨年10月19日に石川県金沢市のいしかわ総合スポーツセンターで開催した第68回中小企業団体全国大会では、組合の力に改めて意識を集中し、中小企業の生産性向上の底上げと、本業の稼ぐ力の強化に向けて全力で取り組むことを確認いたしました。また、11月29日には、安倍総理をはじめ多数の来賓をお迎えし、創立60周年記念式典を開催することができました。人間で言えば「還暦」であり、平成29年は、新たなスタートを切るつもりで、諸課題の解決に全力で取り組んで参ります。

まずは、組合の付加価値拡大への支援です。「ありきたり」の組合活動では価値はありません。組合の先（組合員）の先（顧客）の先にあるニーズを把握して、組合ならではのサービスの提供を図っていくことが大事です。また、組合事務局の事業承継も急務と考えています。地域社会との連携＝絆を深め、地域の経済を支え、挑戦する中央会としての存在感を高めていきます。

本年が、中小企業組合と中小・小規模事業者にとって充実した1年となりますことを心よりご祈念申し上げます。年頭に当たってのご挨拶とさせていただきます。

平成29年元旦



平成31年10月より、「消費税軽減税率制度」がスタートします。本制度は、消費税率10%への引上げに合わせて、低所得者に配慮する観点から実施され、対象品目の消費税について軽減税率(8%)が適用されます。

各事業者は業種に関わらず、「適用税率ごとに区分した経理」や「複数税率に対応した請求書等の発行」など、様々な対応が求められます。

今特集では、制度のポイントや事前にしておくべき準備などについて説明します。

※引用：中小企業庁財務課「今日から始める消費税軽減税率対策」(中小企業庁 HP <http://www.chusho.meti.go.jp/>)

1. 消費税軽減税率制度の対象品目

軽減税率(8%)の対象品目は、

- ① 飲食料品(お酒や外食サービスは除く)
- ② 週2回以上発行される新聞(定期購読されるものに限る)です。



「外食」に該当するかどうかポイント!
持ち帰りを前提とした販売(持ち帰りの意思確認を行った場合や、持ち帰りのための容器に入れたり、包装したりした場合など)は、軽減税率の対象になります!



じゃあ、消費税の軽減税率制度への対応が必要なのは、飲食料品や新聞を取り扱う事業者だけなの?

いや、この制度は、**すべての事業者に影響がある**んだ!
これらを取り扱わない事業者も、贈答用の食品、会議や接待時の茶菓の購入などは、軽減税率の対象となり、納税額の計算に影響するよ。
だから、事前に対象品目について把握しておく必要があるね。





2. 日々の業務で各事業者に求められること

■ 毎日の仕事における主な対応例



・取り扱う商品の税率を確認する。
・適用税率や原価を踏まえて値付けする。

・各品目の税率が正しいか確認する。
・税率がわからない場合は仕入先に確認し自社で税率を請求書等に記載する。
・仕入先ごとに、納品書に基づき、標準税率(10%)と軽減税率(8%)とを分けて記帳する。

・お客様から適用税率等について問い合わせが発生した際に回答できるように、従業員教育を行う。
・請求書、領収書に軽減税率対象品目である旨の記載、税率ごとに合計した対価の額を記載する。
・販売した商品について請求書等に基づき、標準税率(10%)と軽減税率(8%)とを分けて記載する。

・仕入先ごとに納品書と請求書の各品目の税率、請求金額に誤りがないかを確認する。
・受け取った請求書等を保存する。

・税率ごとに区分して記帳された帳簿等に基づいて消費税の税額を計算する。

複数税率対応レジの導入も必要となりますが、経費の一部を補助する制度があります。
詳しくは10ページへ!

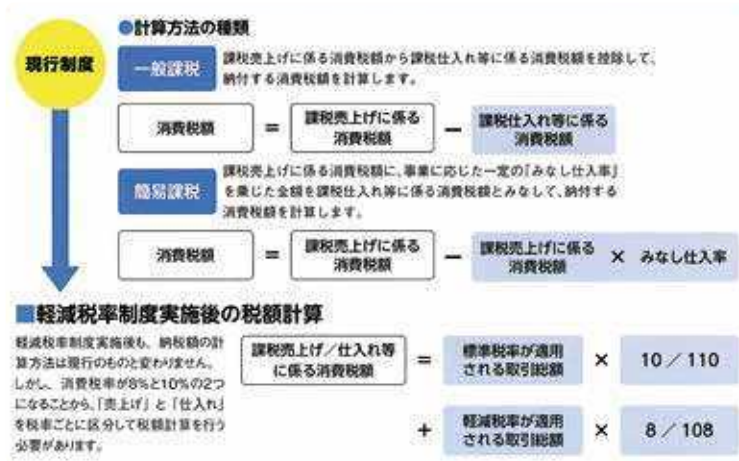


思いの外たくさんあるのね～
事前に日々の業務を振り返って軽減税率の関係事項を洗い出す必要があるわね!



■ 適用税率ごとに区分した経理

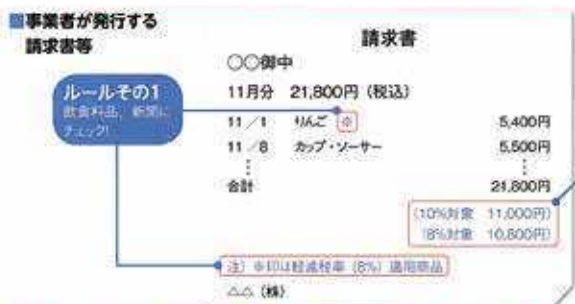
軽減税率制度の実施で消費税率が2つになるため、適用税率ごとに区分して消費税額を計算する必要があります。



税率計算の特例（経過措置）も設けられています！
消費税軽減税率制度が実施される平成31年10月以降の一定期間、売上または仕入を軽減税率と標準税率とに区分することが困難な中小企業者（基準期間における課税売上高が5千万円以下の課税事業者）に対し、売上税額または仕入税額の計算について、特例措置が設けられています。

■ 複数税率に対応した請求書等の発行

消費税額の計算は、受け取った請求書等に基づいて行われるため、どの商品が軽減税率の対象であるかを明示し、適用税率ごとに合計金額を記載する必要があります。



経過措置による免責事業者も新しいルールに沿った請求書等の発行が必要となる場合があります！

3. 中小企業・小規模事業者等消費税軽減税率対策補助金

消費税軽減税率制度(複数税率)への対応が必要となる中小企業・小規模事業者等を対象に、対応経費の一部を補助する制度があります。補助金には2つの申請タイプがあります。

■複数税率対策レジの導入等支援

複数税率に対応するためレジの買替え・改修が必要な事業者を対象とする補助金です。

■補助金制度の概要

概要	複数税率に対応するレジの新規導入や、既存レジの複数税率対応のための改修を支援します。 (レジには、POS機能のないレジ、モバイルPOSレジシステム、POSレジシステムなどを含みます)
補助率	①導入・改修費用：2/3 ②導入費用が3万円未満の機器を1台のみ導入する場合：3/4 ③タブレット等の汎用機器を導入する場合：1/2
補助額上限	レジ1台あたり20万円。さらに、新たに行う商品マスタの設定や機器設置に費用を要する場合は、1台あたり20万円を加算。複数台を導入する場合等は、1事業者あたり200万円を上限。
補助対象	●レジ本体 ●レジ付属機器 (レシートプリンタ・キャッシュドロア・バーコードリーダー・クレジットカード決済端末・カスタマーディスプレイ等) ●機器設置に要する経費 (運搬費を含む) ●商品マスタの設定費用 ※リースの場合も対象です。また、具体的な対象機種等は、補助金事務局ホームページで公開しています。
申請手続き	基本的には、申請書数枚と証拠書類で申請が可能です。また、申請者自身による申請に代え、ホームページで公表する一部のメーカー、販売店、ベンダーなどによる「代理申請制度」の利用が可能です。
申請のタイミング	機器を導入または改修して全ての支払いが完了した後、速やかに(申請は随時受付を行っています)

平成28年3月29日(「所得税法等の一部を改正する法律」成立日)から平成30年1月末日までの期間に導入・改修したレジが補助対象となります。
レジの導入・改修後平成30年1月末日までに申請をしてください。



■受発注システムの改修等支援

電子的な受発注システム(EDI/EOS等)を利用する事業者のうち、複数税率に対応するために必要となる機能について、改修・入替を行う場合に使える補助金です。

■補助金制度の概要

概要	電子的な受発注システム(EDI/EOS等)を利用する事業者が、複数税率に対応するために必要となる機能の改修・入替を支援します。
補助率	2/3
補助額上限	小売事業者等の発注システムの場合：1000万円 卸売事業者等の受注システムの場合：150万円 発注システム・受注システム両方の場合：1000万円
補助対象	●複数税率電子的受発注データのフォーマットやコード等の改修 ●現在利用している電子的受発注システムから複数税率に対応したシステムへの入替 ●電子的受発注に必須となる商品マスタ、発注・購買管理、受注管理機能のうち、複数税率対応に伴い必要となる改修・入替 ※受発注管理とともに在庫管理、財務会計などが一体となったパッケージソフトやサービスについては、電子的受発注システムの機能を含むものであれば、支援対象となります。 ※リースの場合も対象です。
申請支援等	専門知識を必要とするシステムの改修のため、申請者に代わって、あらかじめ事務局が指定したシステムベンダーなどが、原則「代理申請」を行います。
申請のタイミング	交付申請は、システム改修・入替前(申請は随時受付を行っています) ただし、パッケージ製品・サービスを自ら購入し導入する場合は導入後に申請

平成28年3月29日(「所得税法等の一部を改正する法律」成立日)から平成30年1月末日までの期間にシステム改修・入替を完了し、事業完了報告をする必要があります。
ただし、パッケージ製品・サービスを自ら購入・導入する場合は導入後に申請をしてください。
詳細については軽減税率対策補助金事務局ホームページ(<http://kzt-hojo.jp/>)でご確認ください。



4. その他の支援制度

上記の補助金の他にも、軽減税率制度の準備に使える税制措置や融資制度があります。

■軽減税率制度の実施で活用したい主な制度

制度の名称	対象者	制度の内容
少額減価償却資産の損金算入の特例	従業員1,000人以下の中小企業	30万円未満の減価償却資産を取得した場合、当該償却資産の合計額300万円を限度として、全額損金に算入できます。
商業・サービス業・農林水産業活性化税制	一定の事業を営む中小企業	経費改善設備を取得した場合、特別償却または税額控除の適用をうけることができます。 ※経営改善設備とは、商工会議所等の経営改善に関する指導に伴って取得する、一定の器具備品(パソコン、レジ等)・建物付属設備(空調設備等)のことを指します。
中小企業投資促進税制	一定の事業を営む中小企業	一定のパソコン・ソフトウェア等を取得した場合、特別償却または税額控除の適用をうけることができます。
日本政策金融公庫等の融資制度	一定の事業を営む中小企業	複数税率に対応するためのレジの導入やシステム改修等に対して低利融資がつけられる場合があります。

※税制措置の詳細については、中小企業庁ホームページをご覧ください。
URL (<http://www.chusho.meti.go.jp/zaimu/zoisei/index.html>)

中央会でも、中小企業者向けに講習会の開催や専門家派遣、個別相談などの支援を行っています。

ぜひお気軽にご相談ください!
【お問い合わせ先】
鹿児島県中小企業団体中央会
TEL 099-222-9258



健康経営は会社始めのめど宝てみ健康せんか？
健康経営で業績もアップ

協会けんぽと取り組む健康経営

「健康経営」とは？

「健康経営®️」という言葉をお聞きになられたことがありますか？
健康経営とは、社員の健康を会社の「資産」、健康づくりを「経営課題」と捉え、社員の健康増進に努めこれらに積極的に投資することによって、医療費負担の適正化や会社が抱える種々のデメリットの解消、労働生産性の向上を図ることなどを目的とした経営手法です。少子高齢化が進むなか、健康寿命延伸などの観点からも国も積極的な施策を打ち出しています。

※健康経営®️はNPO法人健康経営研究会の登録商標です

今、「健康経営」が注目されています！

健康管理は、これまで個人の問題とされてきました。しかしながら、平成25年には生産年齢人口が32年ぶりに8,000万人を下回るなど、世界でも類を見ないスピードで高齢化社会を迎えるなか、社員の高齢化等による健康リスクの上昇は、今後の会社経営の大きなリスクになることが予想されています。

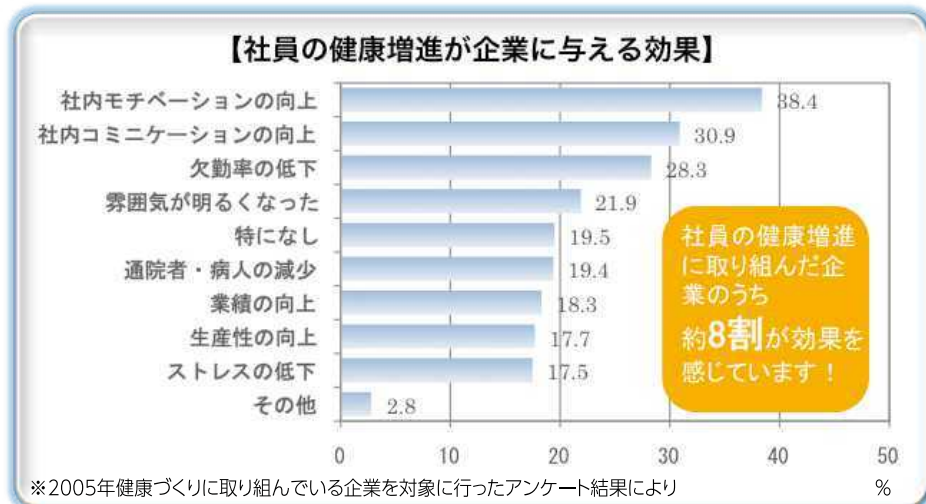
この問題の解決のためには、社員の健康維持、とりわけ日々の大半を過ごす職場での健康づくりが重要となります。健康経営の実践によって社員の健康状態が向上すれば、モチベーションや生産性の向上が見込めます。また、健康づくりの取り組みが対外的な企業イメージの向上につながり、取引先や求職者への好印象、さらにはより良い人材確保にもつながっていきます。

今、企業の経営と個人の健康を一つのものとして捉え、

- ① 少子高齢化による労働人口の減少
- ② 生活習慣病の増加等による医療費の増大
- ③ メンタルヘルス不調者の増加
- ④ 外部環境の変化による経営合理化



などを背景に「健康経営」への関心が高まってきており、実際に取り組む企業が増えてきています。



「健康経営」についてQ&A

Q1)「社員の健康が業績アップにつながる」ってどういうことですか？

体調不良による欠勤者が増えたときに社内全体の作業効率が落ちてしまうのは自明の理ですが、出勤はしていても体調がすぐれない人が多い状態が続けば労働生産性が落ちてしまうということも、たとえば社内で風邪が流行したときのことを思い出しただけに分かるかと思います。社員の体調不良による労働生産性低下による損失は、金額換算で医療費の2倍の損失になるとのデータもあります。一方で健康に対する投資は、社員の会社に対する信頼感、仕事意欲、健康へのリテラシーに影響し、特に中小企業では、社員のファミリー的意識の面からより良い環境への変化が生じやすいと言われています。「会社に行ったらいつのまにか健康になっていた!」という職場環境が理想です。

Q2)社員にもメリットがありますか？

実践されている企業の事例では、先ほどのグラフでも分かるように社内のコミュニケーションが活性化され社員がいきいきと働ける職場になったという意見がよく聞かれます。そういった職場はメンタルヘルス不調者も少なく、また生まれる商品やサービスは質の高いものとなり、どんどん働きがいのある職場へと変わっていきます。

病気になるしないと中々健康のありがたさには気づきにくいものですが、健康であることは本人だけでなくご家族も願っていることです。会社が社員の健康のことを真剣に考え大切にサポートしてくれることは、社員にとって大きなメリットと言えるのではないのでしょうか。もちろん医療費削減など経済的なメリットも大きな面があります。

Q3)「健康経営が人材確保につながる」ってどういうことですか？

日本は急速な少子高齢化社会に向かっています。労働人口は、2025年には現在より460万人も減ると言われており、人材確保の面で中小企業はこれまでにない大きな課題を背負うことが予想されます。しかしながら、今いる社員が長く健康で働いてくれること、そしてそのような社員を多く擁することを目的として健康経営に取り組むことが、会社のイメージアップとともに人材確保の面からも短期的・長期的に非常に大きなメリットを生じさせることが考えられます。また求職者は、中小企業白書などからも労働時間や職場環境を重視して、就職先を選ぶ傾向がうかがえます。

Q4)ほかにも何かメリットがありますか？

個人としての視点でいえば、経済的な面だけをとらえても健康であり続けることによる医療費の抑制や収入の安定的な確保を図ることができるといった面で、計り知れないメリットがあります。また健康な人が増えることで全体としての医療費まで抑制されれば、お給料から差し引かれている健康保険料も抑制されます。

会社経営の視点でいえば、不健康な職場環境がもとで大事な社員が急に体調を崩して休んだり、ましては退職なんてことになったら大変です。体調不良による労災事故予防などの面のリスクマネジメントにもなります。

具体的に健康経営を始めるには・・・「健康経営力向上計画」

病気のリスクは、食事の嗜好や地域性、職種により特性があります。例えば、システム系職場と体を動かす職場では傾向が違ってきます。営業職など飲み会が多い職場では血糖値が高い傾向にあったり、夜勤のある職場では食事の後にすぐ寝たりすることが原因で脂肪肝になりやすくなったりします。まずは自分の会社の特性を知ることから始めましょう。知ること、どこに手を打てばいいかが分かり、そこが健康経営の始まりになります。

協会けんぽでは、初めは「難しく考えずにできるところから取り組む」ことをアドバイスしています。たとえば、毎日ラジオ体操を行うとか、甘い飲み物を飲まないようにするとか、毎日+1,000歩歩くなど、まずはスモールチェンジから始めてみてください。その第1歩としては、協会けんぽが行っている健康宣言「健康経営力向上計画」がお勧めです。これは、企業で健康づくりに取り組む内容を宣言していただき実践することで健康企業を目指すもので、協会けんぽはその手助けをさせていただきます。詳しくは次ページをご覧ください。



協会けんぽ鹿児島支部:『健康経営力向上計画』パンフ抜粋



協会けんぽ鹿児島支部では、加入事業所に対して様々な健康づくり支援事業を行っています。

- ◆ 健診費用の補助
- ◆ 保健指導・健康づくり講座
- ◆ セミナーの開催

健康宣言以外でもご不明な点はお気軽に下記までお問い合わせください。

健康宣言エントリーの方法・流れ

- 1** まずは会社の「健康環境」をチェックしてください
→「エントリーシート」・「チェックシート」提出

「チェックシート」を採点し、点数状況や御社の業種・業態を加味して、効果的と思われる健康づくりの取り組みをご提案(送付)します。
- 2** 提案された内容などから取り組みをご検討ください
→「健康宣言書」提出

「宣言書」の内容をもとに作成した「健康宣言認定証」を送付します。
- 3** 健康宣言認定証を社内に掲示していただき取り組みます
→途中アドバイスを受けることができます。
- 4** 「取組結果チェックシート」(自己採点)をご提出ください
→アンケートとともにご提出ください。

精一杯取り組まれた事業所様やユニークな取り組みを実施された事業所様に表彰をいたします。

【お問合せ先】

全国健康保険協会 鹿児島支部 電話099-219-1734 FAX099-219-1743

——— 美味しい時間を4つのレストランで ———



1階 カフェレストラン トリアン



2階 日本料理 七彩



13階 スカ이라ウンジ フェニックス



県庁18階 県庁レストラン ラテラス



鹿児島 サンロイヤルホテル
鹿児島市与次郎1丁目8番10号 Tel:099-253-2020



ホテル ⇄ 鹿児島中央駅・天文館

無料シャトルバス運行中!

鹿児島県中小企業団体中央会



共済制度普及キャンペーン実施中！！

鹿児島県中小企業団体中央会では、三井生命保険株式会社と連携し、平成29年3月末まで共済制度普及キャンペーンを実施しております。本共済制度は中央会の大きな組織を通じて安定した制度運営を行っており、組合並びに組合員の皆さまは各種共済制度をご利用できます。

- 従業員の皆さまの退職金準備
- 事業主・従業員の方の業務上の災害への備えに
- 経営者の方の事業継承・リスクマネジメント対策、退職慰労金準備
- 従業員の方への福利厚生制度の準備

【連絡先】

三井生命保険株式会社 南九州支社
鹿児島市加治屋町18-8 三井生命ビル2F
電話 099-226-6311

この機会に、中央会共済制度のご利用についてご検討くださいますようお願い申し上げます。

私たちが担当させていただきます

＜三井生命保険株式会社 南九州支社一同＞



下土橋 敏 (シモツチハシ サトシ)
南九州支社 支社長
【担当地域】鹿児島県・宮崎県全域
【出身地】鹿児島県薩摩郡
【自己紹介】趣味:ゴルフ・釣り
好きな飲み物は、芋焼酎とウイスキーです。
中央会組合員のみなさまのお役に立てるような情報提供をタイムリーに行って参りますのでよろしくお願いいたします。



和仁 浩一 (ワニ ヒロカズ)
南九州支社 営業推進部長
【担当地域】宮崎県・鹿児島県全域
【出身地】岡山県津山市
【自己紹介】趣味:温泉巡り
役職名のとおり、生命保険の推進を担当しております。中央会様には「オーナーズプラン」「パートナーズプラン」という優れた制度があります。同制度の普及推進に尽力いたします。



牛島 健一郎 (ウシジマ ケンイチロウ)
南九州支社 損保推進部長
【担当地域】宮崎県・鹿児島県全域
【出身地】宮崎県宮崎市
【自己紹介】趣味:ゴルフ
「ビジネスJネクスト」等の損害保険を活用し、会員企業の皆さまの企業防衛やコスト削減のお役に立てるご提案を目指します。



中川 義博 (ナカガワ ヨシヒロ)
南九州支社 課長 (中央会推進担当)
【担当地域】鹿児島県全域
【出身地】福岡県福岡市
【自己紹介】趣味:ゴルフ
楽しく賑やかにお酒を飲むことが大好きです。鹿児島県中央会推進担当として、各組合様を大切に、共済制度の普及にお役に立てるように尽力いたします。



佐々木 俊和 (ササキ トシカズ)
鹿児島営業部 営業部長
【担当地域】鹿児島市
【出身地】兵庫県
【自己紹介】趣味:食べ歩き・読書
鹿児島に赴任して1年が経ちました、2年目の今年は、昨年以上に各組合様や各企業様にまめに足を運び、営業の原点であるなじみ訪問に注力し、共済制度普及に努めます。よろしくお願いいたします。



平井 友啓 (ヒライトモヒロ)
鹿児島南営業部 営業部長
【担当地域】鹿児島市谷山・指宿市・枕崎市
【出身地】神奈川県鎌倉市
【自己紹介】趣味は野球です。
座右の銘:継続は力なり！！
何事もプラス思考で明るく取り組んで参ります。中央会共済制度の普及を目指して邁進いたします。



吉野 正教 (ヨシノ マサノリ)
霧島営業部 営業部長
【担当地域】霧島市・始良市
【出身地】京都府京都市
【自己紹介】趣味:ドライブ、映画鑑賞(SF)
営業部の仲間とともに、一人でも多くの皆さまに充実した中央会共済制度の魅力をご案内して参ります。
どうぞ、よろしくお願いいたします。



用品 友吾 (ヨウシナ ユウゴ)
川薩営業部 営業部長
【担当地域】薩摩川内市・出水市・日置市
【出身地】広島県広島市
【自己紹介】趣味:釣り、マラソン
中央会共済制度を活用して、しっかりと一人でも多くのお客さまにメリットをお伝えできるよう尽力いたします。
よろしくお願いいたします。



田中 繁樹 (タナカ シゲキ)
鹿屋中央営業部 営業部長
【担当地域】鹿屋市・志布志市・大崎町
【出身地】福岡県福岡市
【自己紹介】趣味:磯、いかだ釣り
この10月に岡山県玉野市より転勤して参りました。大隅地区の中央会共済制度普及に尽力いたします。今後とも宜しくお願いいたします。



武元 みゆき (タケモト ミユキ)
南九州支社 課長
【担当地域】鹿屋市・志布志市・大崎町
【出身地】鹿児島県肝属郡
【自己紹介】趣味は温泉巡りです。
中央会の共済制度を活用して皆さまのお役に立てる情報提供に努めて参ります。
よろしくお願いいたします。

迎
春

新しい年を迎え
皆さまのご多幸をお祈り申し上げます。
本年も「組合と共に明日を拓く中央会」の
理念の下、中小企業の更なる発展の為
万全を期して参りますので、
今後ともご指導ご鞭撻のほど
よろしくお願い申し上げます。

平成二十九年 一月



組合と共に明日を拓く中央会

鹿児島県中小企業団体中央会

会 副 副 副 専	長 會 會 會 務	長 長 長 理	事	小 柳 秋 下 永	正 元 園 田	芳 正 耕 廣 福	史 保 郎 一 一
-----------------------	-----------------------	------------------	---	-----------------------	------------------	-----------------------	-----------------------

役員一同

近代化を誇る全国屈指の流通拠点



理事長 小正 芳史



副理事長 下堂 豊



副理事長 三角 征四郎



副理事長 玉利 佳久

鹿児島市内に駐車場300台(最大)を有する多目的ホール



鹿児島総合卸商業団地協同組合

〒891-0123 鹿児島市卸本町6番地12

TEL 099-260-2111 FAX 099-260-2109

URL <http://www.orocity.or.jp/>





鹿児島浄水事業協同組合

代表理事 有村 興一
組合員一同

〒891-0122 鹿児島市南栄三丁目15番地1
TEL 099-269-6016 FAX 099-269-6012



一般社団法人 鹿児島県LPガス協会

会長 秋元 耕一郎

〒890-0064 鹿児島市鴨池新町5番6号

TEL **099-250-2535**
FAX **099-250-2534**

南九州産業団地協同組合

代表理事 下園 廣一
組合員一同

〒891-0131 鹿児島市谷山港二丁目2番地8
TEL 099-261-0733
FAX 099-261-0739

国産材原木丸太・製材製品

なんでも揃う木材市場

鹿児島県木材銘木市場協同組合

理事長 柴 立 鉄 彦

〒891-0115 鹿児島県鹿児島市東開町3番地35号

TEL : 099-268-5131

FAX : 099-268-5210

Eメール : meiboku@po5.synapse.ne.jp

鹿児島県農業機械商業協同組合

理事長 田 中 俊 實

組合員一同

〒899-6405 霧島市溝辺町崎森973-1

TEL 0995-58-4713

FAX 0995-40-2142

鹿児島県遊技業協同組合

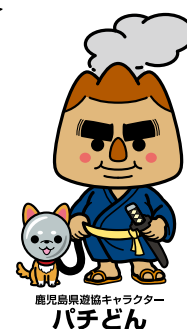
理事長 山 室 克 己

組合員一同

〒892-0838 鹿児島市新屋敷町12-5鹿児島商品販売ビル2F

TEL 099-223-7973

FAX 099-227-1553



鹿児島市中央卸売市場青果食品協同組合

理事長 北 野 修

他組合員一同

〒891-0115 鹿児島市東開町11番地1

TEL 099-267-3822

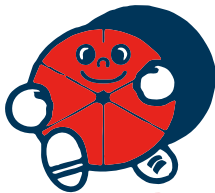
FAX 099-267-4097



鹿児島自動車工業協同組合

代表理事 羽 仁 正次郎
組合員一同

〒891-0131 鹿児島市谷山港二丁目4番地5
TEL 099-262-0255
FAX 099-262-0244



あかぼう

引越と急送品 荷物のことなら 赤帽鹿児島県軽自動車運送協同組合

理事長 永徳悦子・組合員一同

〒890-0034 鹿児島市田上1丁目8-2 TEL.099-257-0090 FAX.099-254-4110
HP <http://kagoshima.akabou.jp/> e-mail kagoshima@akabou.jp
赤帽鹿児島県本部 共同配車センター ☎0120-400-111



総合物流協同組合

代表理事 山 根 英 司
専務理事 久木留 寛
組合員一同

東日本地区本部 〒150-0021 東京都渋谷区恵比寿西2-1-7-1001 TEL 03-3462-2060 FAX 03-3462-2061
西日本地区本部 〒890-0052 鹿児島市上之園町24番2号第12川北ビル TEL 099-285-1400 FAX 099-285-1402
URL <http://www.ksb-kumiai.com/> E-mail info@ksb-kumiai.com

謹 賀 新 年

名瀬港港湾運送事業協同組合

理事長 里 見 弘 壽
組合員一同

〒894-0035 鹿児島県奄美市名瀬塩浜町2278番1号 名瀬港湾センター2階
電話・FAX: 0997-52-0088

鹿児島県運送事業協同組合連合会

代表理事 大迫秀夫
組合員一同

〒891-0131 鹿児島市谷山港二丁目4番15号
TEL 099-262-0225
FAX 099-262-2365



協業
組合

薩南浄水管理センター

理事長 徳永博光
組合員一同

〒891-0404 鹿児島県指宿市東方字本村西10473番地3
電話 指宿 (0993) 代②5110
FAX (0993) ②2846



謹賀新年

協同組合 鹿児島ウツディホームビルダー協会

理事長 下津春美
組合員一同

〒891-0115 鹿児島市東開町13番地30
TEL 099-260-1915
FAX 099-260-1914



Kagoshima Doctor Cooperative Association

鹿児島県医師協同組合

鹿児島県勤務医師生活協同組合
有限会社 鹿児島医協

〒890-0053 鹿児島市中央町8-1
TEL 099-254-8126 FAX 099-257-1816
E-Mail ikyoo@kagoshima.med.or.jp
ホームページ: <http://www.kagoshima.med.or.jp/kyoudou/>



大隅地区生コンクリート協同組合

理事長 森 義 久
組合員一同

〒893-0011 鹿屋市打馬2丁目9番29-1号
TEL 0994-44-7731
FAX 0994-40-3330

鹿児島県木材協同組合連合会

会 長 柴立 鉄彦
組合員一同

〒891-0115 鹿児島市東開町3番2号
TEL 099-267-5681
FAX 099-267-2407



鹿児島県蒲鉾協同組合

理事長 有 村 興 一
組 合 員 一 同

〒892-0835 鹿児島市城南町37番地2
TEL / FAX 099-222-0297

鹿児島県石油販売業協同組合 鹿児島県石油商業組合

理事長 坪久田 正 明

副理事長 上村 眞一・高取 浩俊・山本 宏
的場 勝彦・恒森 孝雄・米丸 良行

〒890-0064 鹿児島市鴨池新町5番19号
TEL 099-257-2822

鹿児島県パン工業協同組合

理 事 長 木 元 繁
副理事長 末 永 正 人
副理事長 山 崎 昇 平
専務理事 井 上 正 信
組 合 員 一 同

〒890-0064 鹿児島市鴨池新町14-3
TEL 099-253-9211
FAX 099-253-9249

本場大島紬織物協同組合

理事長 窪 田 茂
組 合 員 一 同

〒891-0123 鹿児島市卸本町4番地7
TEL 099-204-7550
FAX 099-204-7551



本場奄美大島紬協同組合

理事長 山田伸一郎 副理事長 前田 豊成
専務理事 牧 雅彦 常務理事 三島 照
外役職員・組合員一同

奄美市名瀬港町15番1号
TEL 0997-52-3411・FAX 0997-53-8255

鹿児島機械金属工業団地協同組合

理事長 丸 元 正 樹
副理事長 丸 山 聡
副理事長 山 下 健 次

〒890-0073 鹿児島市宇宿2丁目5番4号
TEL 099-254-3161 FAX 099-254-3163

奄美大島自動車整備工業協同組合

理事長 喜 元 健一郎
組合員一同

〒894-0007 奄美市名瀬和光町12番地2
TEL 0997(52)1496(代)
FAX 0997(53)8520

鹿児島生コンクリート協同組合

鹿児島市上之園町24-2第12川北ビル601 TEL 099-255-2672

(鹿児島支部) 南国生コンクリート(株) 北薩生コンクリート(株)
土佐屋生コンクリート(株) (株)ガイアテック 加根又レミコン(株)
日研マテリアル(株) 鹿児島菱光コンクリート(株) 鹿児島味岡生コンクリート(株)
喜入生コン(株) 株式会社エイエスプラント事業部 薩摩コンクリート(株)
南州コンクリート工業(株) 平田コンクリート工業(株) NANSAY生コンクリート(株)
(中薩支部) (株) 中 馬 株式会社直木生コンクリート工場
(株) サン・エイ 日新コンクリート工業(株) (株) 中 薩
南国ガイアレミコン(株)
(南薩支部) 株式会社顔娃コンクリート工業 (株)恋島コンクリート
薩摩コンクリート(株) (株) シ ー ト ッ ク 日新コンクリート工業(株)
南九州イワタ産業(株)

鹿児島県茶商業協同組合

理事長 池 田 耕 一
組合員一同

〒891-0122 鹿児島市南栄三丁目11番地28
TEL099-268-6181・FAX099-260-2332

鹿児島県コンクリート製品協同組合

理事長 松 崎 秀 雄
組合員一同

〒890-0062 鹿児島市与次郎2丁目7番25号
TEL 099-255-2511
FAX 099-259-2840



官公需適格組合

鹿児島県測量設計 コンサルタント協同組合

理事長 塚 脇 伸
組合員一同

〒890-0066 鹿児島市真砂町48番1号
TEL 099-253-9354
FAX 099-258-6633



官公需適格組合 〔事務所移転、住居等の引越、トラック輸送を専門としています。お問い合わせは当組合へ〕

鹿児島共同配車センター事業協同組合

理事長 有村住美
組合員一同

〒891-0131 鹿児島市谷山港三丁目1-5
TEL 099-261-3341
FAX 099-262-1316
E-mail:kakyohai@helen.ocn.ne.jp

薩摩川内市管工事業協同組合

理事長 上野耕作
組合員一同

〒895-0012 薩摩川内市平佐町3913番地1
TEL 0996-23-4806
FAX 0996-23-4850

官公需適格組合

鹿児島県建築設計監理事業協同組合

理事長 今村裕
組合員一同

〒890-0055 鹿児島市上荒田町29番33
TEL 099-298-1835
FAX 099-298-1836

鹿児島県旅行業協同組合

理事長 中間幹夫
組合員一同

〒892-0816 鹿児島市山下町17-5
TEL 099-225-8901
FAX 099-225-8761

鹿児島県鰻魚養殖加工販売協同組合

理事長 奈良千尋
組合員一同

〒891-0311 指宿市西方 473
TEL 0993-26-4188
FAX 0993-26-4187

鹿児島市建設業協同組合

理事長 野添正文
組合員一同

〒890-8512 鹿児島市鴨池新町6番10号
TEL 099-256-5088
FAX 099-256-5692

鹿児島県砕石協同組合連合会

(一社) 日本砕石協会鹿児島県支部

会長 中馬浩
会員一同

〒890-0064 鹿児島市鴨池新町21-1町田ビル205号
TEL 099-255-2311
FAX 099-255-2317

鹿児島県砂利協同組合連合会

会長 島田静雄
副会長 吉永光行
組合員一同

〒891-0131 鹿児島市谷山港二丁目21番
TEL 099-210-8133
FAX 099-210-8101

登録調査機関(一般用電気工作物調査業務)
鹿児島県電気工事業工業組合
(鹿児島県電気安全サービス)

理事長 寺田 実三
組合員一同

電気事業法に基づく登録調査機関として、九州電力の委託を受け、「一般ご家庭等の電気設備」の安全調査を行っています。

〒890-0062 鹿児島市与次郎一丁目3番11号
TEL 099-255-5507
FAX 099-255-5549

鹿児島県菓子工業組合

銘菓「鹿児島名産かるかん」を
お土産に是非どうぞ!

理事長 岩田 泰一
組合員一同

〒892-0841 鹿児島市照国町14番13号
TEL 099-222-2578
FAX 099-227-0485

クルマ買とやら
安心と信頼の **JU** ショップ

JU 鹿児島

鹿児島県中古自動車販売商工組合

理事長 新園 康男
組合員一同

〒899-5203 始良市加治木町小山田字五本松754
TEL.0995-62-0757 FAX.0995-62-2743



鹿児島県生コンクリート工業組合 鹿児島県生コンクリート協同組合連合会

理事長・会長 江夏 洋
組合員一同

〒890-0052 鹿児島市上之園町24番2
TEL 099-254-1560
FAX 099-258-4730

さつまいも産業振興協同組合

理事長 本坊 松一郎
組合員一同

〒892-0842 鹿児島市東千石町6番28号
TEL 099-239-4865 FAX 099-239-4862
URL <http://www.satsumaimonoyakata.com>

鹿児島県板金塗装工業協同組合

理事長 濱崎 博文
組合員一同

〒890-0034 鹿児島市田上8丁目13-6
TEL 099-281-4700
FAX 099-281-4709



乗って安心、ちょうちん個人タクシー

南九州個人タクシー事業協同組合

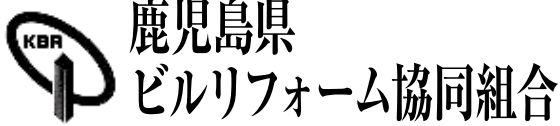
理事長 松元 睦男
組合員一同

〒890-0026 鹿児島市原良5丁目10番11号
TEL 099-251-4819
FAX 099-251-4619



大型建築物から一戸建て住宅まで 外壁改修専門業者

(塗装工事・防水工事・左官工事の建設許可業者で構成)
外壁改修工事のことなら当会へご相談ください。



事務局 TEL099-220-3388 (株)上原塗装内

本格焼酎事業協同組合

理事長 本坊 松 美
組合員 一同

〒890-0055 鹿児島市上荒田町 29 番 18 号
TEL 099-285-0303
FAX 099-285-0202



かしん専属モデル
中西 梨紗

2017年がよりよい年となりますよう
心からお祈り申し上げます。



〒892-8586 鹿児島市名山町1番23号
kashin.co.jp

あけまして
おめでとうございます。



鹿児島市東千石町17番11号
TEL (099)224-3175
FAX (099)239-0365
ホームページ <http://www.ka-kousin.co.jp>



本仮屋ユイカ

あけまして
おめでとうございます

奄美信用組合

理事長 安 忠雄

〒894-0025 奄美市名瀬幸町6番5号
TEL 0997-52-7111
FAX 0997-53-5211
<http://www.amamishinkumi.co.jp>





●●●●●
その印刷に高付加価値を。

 **IMPACT.P** の **EASTASAHI**
PRINTING COMPANY

〒891-0122 鹿児島市南栄3丁目30-7
TEL.099-266-5522 FAX.099-266-5523

<http://eastasahi.com>

mmc

株式会社エム・エム・シー

IT 教育訓練・パソコン研修・セミナー
ソフトウェア開発・パッケージ販売
ネットワーク調査・構築・運用・保守
ネットワークセキュリティ対策
EC サイト構築・SaaS サービス

〒892-0827
鹿児島市中町 3-11 日専連ビル 4F
TEL 099-224-9111
FAX 099-227-0794
<http://www.mmc-net.co.jp/>



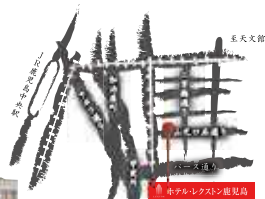
ホテル
パレスイン鹿児島
PALACE IN KAGOSHIMA

2名様～300名様までの各種ご宴会・
ご宿泊、随時予約承ります。

〒892-0845 鹿児島市樋之口町8-2
TEL 099-223-1111/FAX 099-223-1700



価値が分かるあなたへ・・・
ほんの少しだけの贅沢をしてみませんか。



ホテル・レクストン鹿児島

●全館リムジン（2次車）から歩いて4分
鹿児島市山之口町 4-20 TEL.099-222-0505
<http://nisikawa.net/lexton/>

お花は御婚礼から御仏事まで

(有)田中皆花園

892-0816 鹿児島市山下町9-30 (市役所横)
TEL 099-226-5358
FAX 099-223-4830
<http://www.tanaka-kaikaen.com>

全国・遠くの御知り合いにも配達します

中央会年始会を開催



1月5日、鹿児島市の「鹿児島サンロイヤルホテル」で、中央会会員と来賓並びに関係者による恒例の中央会年始会を開催し、県内の組合関係者ら150人が集まった。最初に「国歌」及び「中小企業団体の歌」を斉唱し、柳正保副会長の掛け声のもと、出席者全員で「中央会理念」を唱和した。続いて、小正芳史会長が年頭の挨拶を行った。

小正会長は、「国内経済は大企業を中心に回復傾向にあると言われているが、中小企業者には波及効果が行き渡らず、人口減少や少子高齢化の進行により、人手不足が深刻化している。そのような中、政府が取り組む『一億総活躍社会』が早期に実現され、国民全てが各々のステージで活躍でき、より一層の個人消費喚起を図ることで、経済の好循環へと結び付くよう期待している。昨年本県で開催した『第58回中小企業団体九州大会』では、熊本地震からの早期復興と中小企業・小規模事業者が地方経済の担い手としての役割を果たせるような支援の実施を、国へ強く要望した。」と述べた。



年頭の挨拶を述べる
小正会長

また、本会が地域事務局となっている『ものづくり補助金』について、「この4年間で延べ500社以上の県内中小企業者に対して、40億円近い設備投資を後押ししてきた。現在『平成28年度補正ものづくり補助金』の公募がスタートしており、政府の切れ目のない施策により、県内経済のさらなる発展に貢献できるものと確信している。本会としても、組織化施策を中心とした様々な支援メニューを通じて、県内中小企業者の振興と発展のために全力で取り組んでいきたい。」と述べた。

この後、三反園訓鹿児島県知事、池畑憲一鹿児島県議会議員、森博之鹿児島市長(阪口副市長による代読)、岩崎鹿児島県商工会議所連合会会長が来賓祝辞を述べた後、林健司日本銀行鹿児島支店長の乾杯発声により開宴となった。地元選出国會議員の祝辞等を交え、最後に堂園哲也商工中金鹿児島支店長による万歳三唱が行われ、盛会のうちに終了した。



三反園鹿児島県知事



池畑鹿児島県議会議員



阪口鹿児島副市長



岩崎鹿児島県
商工会議所連合会会長



林日銀支店長



堂園商工中金支店長

「組合事務局代表者研修会」を開催 ～個人型確定拠出年金の制度変更と留意点・ これからの金融機関と組合組織の役割～

12月7日、鹿児島市の「ホテルレクストン鹿児島」で、事務局代表者研修会を開催した。

前半は「個人型確定拠出年金の制度変更と留意点」をテーマに研修会を行った。講師の厚生労働省年金局 企業年金国民年金基金課確定拠出年金管理係長の水村隆史氏は、確定拠出年金法(DC法)の改正に至った経緯について説明した後、①企業年金の普及・拡大②ライフコースの多様化への対応③DCの運用の改善といった改正点について解説を行った。

水村氏は、「働き方などが多様に変化する中で、企業年金の普及・拡大を図り、老後に向けた個人の継続的な自助努力を支援する必要があることから、今回の法改正が行われた。様々な制度があるが、自分に合った方法で資産運用を行っていただきたい。」と参加者に呼びかけた。

後半は「これからの金融機関と組合組織の役割」をテーマに研修会を行った。講師の鹿児島興業信用組合 理事長の満田學氏は、金融業界における信用組合の役割やその変遷について説明し、「鹿児島県内の人口減少・事業所数減少による環境の変化の中、鹿児島興業信用組合としては組合制度を活かした地域密着型の金融を行っていく方針である。従来、信用組合における『相互扶助』は、『資金の融通による相互扶助』が中心であったが、これからは今まで以上に組合員による組合員のための信用組合を構築するため、『資金の融通による相互扶助』に加え、コンサルティングなどの『知恵による相互扶助』、地域社会と関わる『ネットワーク化による相互扶助』の3つの相互扶助を実践していく。」と述べた。

最後に満田氏は、「組合員の強みと弱みを知り、ターゲットを明確にすること、その上で基本を徹底すること、革新を忘れないこと、常に進化・創造への挑戦を怠らないことを実践していきたい。」と締めくくった。

参加者は、組合や組合員にとってあまりなじみのなかった個人型DCや、事業を行う上で非常に重要である金融機関との関わり方について理解を深めた。



水村隆史氏



満田學氏

百年一新
百貨維新



おかげさまで
株式会社設立100年



これからも、
地域とともに。

いつでも、どこでも、アクセス! [山形屋](#) [検索](#)



山形屋

〒892-8601 鹿児島市金生町3番1号
電話(099)227-6111
www.yamakataya.co.jp

会員懇談会を開催 ～鹿児島県中小企業団体中央会女性部会～

12月8日、鹿児島市の「ホテルレクストン鹿児島」で、本会女性部会(田島直美会長)が会員懇談会を開催した。

有限会社セオ薬局 代表取締役 瀬尾昭一郎氏(金生通り商店街振興組合 理事長)を講師に迎え、「漢方の力で体のトラブル解消」と題して講演が行われた。

瀬尾氏は、冷え性など女性特有の体調不良へ効果的な漢方を中心に解説を行い、「漢方薬は体のタイプ、体格、体質、顔色、急性・慢性等で使い分ける必要がある。病院や薬局などで相談しながらより効果的に漢方を取り入れてほしい。」と述べた。

参加者は講師の話に熱心に耳を傾け、引き続き行われた懇親会でも活発な質疑応答が行われた。



講師の瀬尾昭一郎氏



講演の様子



本女性部会では、会員懇談会やレディース交流会など、社会で活躍する女性のための事業を実施しています。

ボランティア事業を実施 ～鹿児島県中小企業団体中央会青年部会～

12月22日、鹿児島市の「児童養護施設 仁風学園」で、本会青年部会(宮武秀一会長)がボランティア事業を実施した。

本事業は、特別支援学校や児童養護施設の子供達の日常生活や勉学等に役立ててもらうために、青年部会員から募ったチャリティ募金を使い学用品や日用品等を贈呈しており、今回で23回目の実施となった。

贈呈式では、宮武会長が「勉強・スポーツともに頑張り、成長してください。」と挨拶し、サッカーゴール2台、サッカーボール3個、ビブス一式を贈呈した。

これを受け、原田施設長がお礼を述べ、児童代表から感謝の言葉と手作りのペンダントが宮武会長へ贈られた。

青年部会は、今後も引き続き同事業を通し、県内の将来を担う子供達と交流を深めていく予定である。



目録贈呈の様子



宮武会長と原田施設長



本青年部会は、青年経営者の育成を目的に講習会・研修会等の開催に加え、親睦活動やボランティア事業等の各種事業を積極的に実施しています。

本場大島紬フェスティバルを開催

～本場大島紬織物協同組合～

本場大島紬織物協同組合(窪田茂理事長)は、12月10日と11日の2日間、鹿児島市の「中央公民館」で、「本場大島紬フェスティバル」を開催した。

この催事は、鹿児島を代表する国の伝統的工芸品のひとつである“本場大島紬”の魅力を産地である鹿児島の人々に改めて感じてもらうことを目的としており、本場大島紬の製造工程、実演体験や、本場大島紬展、来場者が審査・投票を行う新作コンテスト、小物等の展示等を行い、長い歴史と伝統を誇る本場大島紬の魅力を発信した。

和洋装ファッションショーでは、鹿児島純心女子短期大学の生徒により大島紬を活用した斬新なドレス等が披露され、多くの来場者の目を引いていた。

また、「2017年度本場大島紬クイーンコンテスト」が開催され、応募者総数130名の中から書類審査、面接を経た15名が最終選考会(着物審査)に臨み、ウォーキングやファッションショー、ショートコメントなどの自己PRを行い、厳正な審査の結果、3名の本場大島紬クイーンが選出された。



2016紬クイーン(左)と2017紬クイーン(右)



ファッションショーの様子



来場者により投票が行われた新作コンテスト

本場大島紬織物協同組合ホームページ

<http://oshimatsumugi.com/>



紬クイーンは様々なイベントなどに出務して本場大島紬の魅力を発信しているわ。
新しく紬クイーンに選ばれた3人の活躍が楽しみね！

株式会社 近畿日本ツーリスト九州

個人旅行・グループ旅行
何なりとご相談下さい

近畿日本ツーリスト

鹿児島支店 支店長 藤本 邦夫

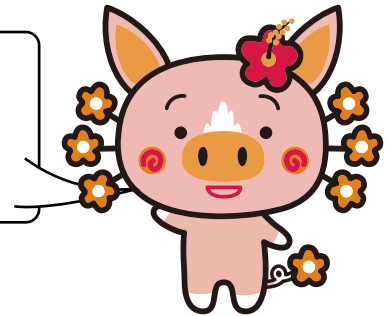
〒892-0828

鹿児島市金生町4-10 アーバンスクエア鹿児島ビル3F
TEL:099(223)3205 FAX:099(239)8159
営業時間:平日9:30~17:15 土日祝休み



第33回「消費税の課税事業者」について

設立以来、消費税の納税は免税事業者となってきましたが、近年組合員の加入により共同事業の取扱高が増加しています。そこで、消費税の課税事業者となる条件を教えてください。



はい!お答えします!



- ◆ 原則として、**基準期間** (法人の場合は前々事業年度)における**課税売上高が1千万円**を超えると、課税事業者になります。
- ◆ なお、前期(1年前の事業年度)の前半6ヶ月間の「課税売上高」及び「給与等支払額の合計」が**いずれも1千万円**を超えた場合も課税事業者になります。
- ◆ 課税売上高とは、国内において行った課税資産の譲渡等の対価の額(消費税抜き)の合計額から、売上に係る対価の返還等の金額(消費税抜き)の合計額を控除した残額を指します。
- ◆ 分かりやすく言えば、「消費税抜きの純売上高」となりますが、例えば(対価性のない)賦課金収入、受取利息・配当金、国等からの補助金収入などは課税売上高には該当しないので注意が必要です。
- ◆ 上記の事由が発生した場合は、速やかに納税地を所管する税務署長に「消費税課税事業者届出書」を提出してください。

詳しいことは、中央会指導員に相談してほしいが〜



使いみち自由で
おまとめOK!!

専業主婦・パート
アルバイト・年金受給
の方もOK!!

ご利用履歴は
Webで確認

お申込み方法

カードローンWAZZECAのお申込み・商品概要については、下記のフリーダイヤルもしくは最寄りの支店窓口にお問い合わせください。



0120-791-373

受付時間 午前9時～午後6時(土・日・祝休日は休み)



http://nangin.jp

373net.jp

検索

©24時間365日受付

南日本銀行

カードローン WAZZECA

ワッゼカ

ローンの金利が

年**2.8%**から

契約極度額は

1,000万円まで

いつでも!
どこでも!

ご利用いただける方 満20歳以上70歳未満の方(専業主婦、パート・アルバイト、年金受給者の方も可)保証会社の保証が受けられる方

お使いみち 自由(おまとめOK)

ご融資金額 10万円～1,000万円(10万円単位)

ご融資利率 年2.8%～年14.5%(但し、ご融資利率は保証会社の審査により決定させていただきます。)

ご融資期間 原則、1年の自動更新

*所定の審査結果、お客様の希望に添いつねお申し込みください。

with you
南日本銀行

製造業

【食料品(味噌醤油製造業)】

11月に入り、冬らしい寒さを感じさせる日も増えてきたが長続きせず、売行きも芳しくなかった。12月に備え、製造は着々と進んでいるが**売行きはやはり天候次第**となりそうだ。

【食料品(酒類製造業)】

(平成28年11月分データ) (単位kQ・%)

区分	H27.11	H28.11	前年同月比	
製成数量	26,423.8	25,242.0	95.5%	
移出数量	県内課税	4,909.6	4,836.5	98.5%
	県外課税	6,330.4	6,238.6	98.5%
	県外未納	3,230.7	3,359.0	104.0%
在庫数量	250,009.8	243,428.1	97.4%	

【食料品(蒲鉾製造業)】

旅行シーズン等で本来なら土産品の売上が上がる月だが、熊本震災の影響が未だに続いているためか、売上が激減している。特に**空港土産品の売上が悪く、10%程度マイナス**となっている。全体で見ると-6%である。日配品は県外の安売りが出回っているためやや減少している。原材料のすり身は同月比5%程度の値下げであった。

【食料品(鯉節製造業)】

原料の価格が高値安定している。昨年とほぼ同じ価格で185~200円/kgで推移している。製品売価が少し上がってきたため売上高は増加しているが、業界の景況はあまり変わらない。

【食料品(菓子製造業)】

大口の固定客を持っている組合員除くと、顧客の減少により厳しい景況である。特に、店売り中心の組合員は厳しい。

【食料品(茶製造業)】

共同販売実績は、**前年度売上高110%(前年11月売上89%)**だった。11月15日から18日まで各県で販売会があったが、4会場中3会場で前年度より売上が下回った。

【大島紬織物製造業】

来年度の物作りについて集散地問屋等が来鹿し、注文を受けている機会もあるが**前年度と比較すると少ない状況**である。2020年東京オリンピックに向けて国も力を入れ始めてはいるが、産地まではまだまだ遠い。12月10日、11日に「本場大島紬フェスティバル」を開催する予定である。

【繊維工業(本場大島紬織物製造業)】

生産実績(手織)は**平成28年11月404反(前年度同月比-27反)**であった。

【木材・木製品】

製材製品の母屋角(もやかく)の在庫が急減して品薄になるなど問い合わせが多いものの、それが価格に反映せず強含みながらも**横這いを脱しきれないでいる現状**にある。一方、製材丸太の入荷

がここに来て急激に活発化し、価格は強含んでいるものの製品価格相場との需給バランスに欠けたいびつな景況となって年末を迎えようとしている。

【木材・木製品】

10月の住宅着工戸数の増加により、原木及び国産材製材品の相場はジリ高となっている。製材品の荷動きは全般的に活発で、年末まで品薄感が続く見通しであるが、急激な価格の高騰は見込めない状況である。

【生コン製造業】

出荷量は**145,685m³(対前年比106.8%)**だった。特に減少した地域は、鹿児島・大隅・種子島・奄美大島・奄美南部・喜界島で、特に増加した地域は串木野・川薩・宮之城・出水・始良伊佐・垂水桜島・南隅・屋久島・甑島・沖永良部だった。官公需は65,912m³(対前年比101.1%)、民需は79,773m³(対前年比112.0%)だった。官公需は大幅に減少した昨年度と同水準の額となっており、伸びがない。民需については、地方部まで特需があり、前年度を上回っている。今後の官公需の伸びが気になるところである。

【コンクリート製品製造業】

11月度の出荷トン数は**10,471トン**で、前年度同月比**98.7%**となった。南薩地区と大隅地区を除く地区において出荷量が前年同月比を上回ったのに対し、南薩地区では前年同月比50%となっている。11月度の受注も低調であり、業界の厳しい状況に変わりはない。

【鉄鋼・金属(機械金属工業)】

特段の変化は見られない。

【畳製造業】

畳表が高値で推移している。

【印刷業】

印刷業界の組合員は、関連として段ボールや包装紙等も扱っており、取引先も農業や物流等多岐にわたっている。そのような中、今年は**自然災害(台風等)の被害が甚大で農業に関しても露地栽培の多い県は影響を受けやすく、対応が難しい**。

【総合卸売業】

今年も暖冬の影響から衣料品関連は低調で、自動車関連も事故の減少に伴い減少傾向である。**野菜等の食品関連は、一部の価格が高騰するなど先行きの見通しが難しい状況**である。従来と季節変化が違うため在庫調整に苦心している。依然として人手不足感が強く、最低賃金の引上げとも相まって人件費負担増加に苦慮している。

【水産物卸売業】

11月の数量・金額ともに厳しいものがあつた。種別で見ると昨年同月比で数量はほぼ全てで減少し、それらの金額を見ると種別での際が大きく、生鮮物消費か加工物かで単価に差が出る弱みを露呈した面もある。



非製造業

【燃料小売業 (LPガス協会)】

輸入原料価格は、前月比10ドルのダウンになった。原油価格相場は下落しているが、**暖房及び給油用のLPガスは需要が堅調**で、韓国や中国においては気温の低下で増大傾向にある。日本においては、暖かな日が続いたことから販売量は前年に比べて落ちている事業者が多い。石油輸出国機構の石油減産合意を受けて、来年以降の動向が注視される。

【中古自動車販売業】

依然として**厳しい状況**である。年末・年始の商戦に期待したい。

【青果小売業】

共同販売実績は、前月比**80.48%** (前年同月比**125%**)であった。

【農業機械小売業】

海外での**日本食ブーム**や健康志向から**緑茶の需要が堅調**に伸びており、米国が43%を占めている。薩摩半島南部の茶の生産者は経営の打開策として「かごしま茶輸出サプライチェーンシステム」を構築し、米国への輸出拡大に対応するため生産・加工の流通体制を定めた。

【石油販売業】

OPECをはじめ減産合意が整い、原油価格は上昇基調に入った。従って、**石油製品も季節商品である灯油を始め仕入れコストも上昇**した。同時に小売価格への転嫁が急がれるものの、タイムラグによる**マージン低下**が懸念される。

【商店街 (霧島市)】

商店街の売上動向は前年比で減少のようだ。特に**小売業については厳しい状況**が続いている。11月5日と6日に「霧島ふるさと祭2016」が開催され、霧島市内の農畜産物、新鮮な野菜や果物、新米をつくる農家やお茶や黒酢、焼酎といった地元の加工品、特産品を扱う物産館が出店すると共に、商店街の飲食店による名物料理などグルメの出店もあり、霧島市の「おいしい」が大集合した。延べ約3万2千人の人出であった。また、来月2月には「第4回まちゼミ」を計画中であり、前回以上の盛り上がりを目指したい。

【商店街 (薩摩川内市)】

全体的に消費が落ち込んでいる。商店街のプレミアム商品券を発行した。昨年はほとんどのお客様が上限3万円の換金だったが、今年は1万円・2万円の換金が多く、**消費の落ち込み**を感じた。

【商店街 (鹿児島市)】

天文館地区全体で12月9日～11日の間、レシート抽選会を開催予定。**年末のセール**などで売上の増加を期待している店舗が多い。

【サービス業 (旅館業/県内)】

11月は、**休日・週末前後の宿泊が好調**で、前年同月比で**微増**している施設が多かったと思われる。7月以降の客足の回復に貢献した「九州ふっこう割・プレミアム宿泊券」も12月末で終了するため、年明け以降がその効果の揺り戻しで客足の大幅な落ち込みが懸念されている。政府へこのプレミアム宿泊券を小規模でも継続していただくよう要望を九州各県共同で申し入れようとの意見も出ている。

【測量設計業】

県知事が替わり、影響がどこまで及ぶか不明瞭なため、**投資には少々消極的にならざるを得ない**。

【旅行業】

秋の旅行シーズンのピークを迎え、それぞれの事業所で増減があるものの、売上高は全体的に『九州ふっこう割』の影響で増加であった。相変わらず、連休利用のファミリー層はJRを利用しての関西方面 (USJ) の旅行申込が多い。また、職場旅行の一泊のバスツアーの取り扱いはふっこう割の関係で熊本方面が多い。大幅に取引額の増えた組合員は①職場旅行、修学旅行、②USJへの旅行の取扱額が増えたとのこと。**11月の集客状況は対前年同月比132.5%**であった。

【建築設計監理業】

相変わらず**マンションなどの大規模修繕の問い合わせや見積もり依頼が多い**が、今後の営業や受注を考慮し安価で提出する事業者が増加傾向にあり、建物の調査や設計及び工事内容について**長寿命化**が図れているか憂慮している。

【自動車分解整備・車体整備業】

前年同月と比べて**僅かに好転**した。過去には年末が相当忙しい日が多かったが、最近では微妙に期待が持てない。

【電気工事業】

官庁工事・民間工事共に平年並みであるが、**職人不足の状態が続いている**。太陽光発電設備工事も引き続きあり、そちらに職人がとられているようだ。

【造園工事業】

公共工事依存の企業が多いため、12月に出る業務の入札に**必死**になっている。**年末に向けて個人や企業の庭等の剪定も増加**しているが、時期的な集中と価格で売上を伸ばすことになる時期である。

【管工事業】

引き続き**公共工事及び民間工事共に堅調に推移**している。今後、民間の大型物件等の発注も予定されており、技術者の不足も予想される。

【建設業 (鹿児島市)】

組合員の殆どが対前年度の同期と比べ、**公共事業が減少し、受注が少なくなり売上高が落ちている現状**であり、各社受注の減少に伴って売上高も落ち込んでいる現状である。各社とも経費削減などで経営維持に努めている。特に鹿児島においては大きな企業がないので、若者が希望を持って働ける場を設ける必要があるため、建設業界の発展へ向け公共工事を増やしてほしい。

【貨物自動車運送業】

11月に入り、原油高であり**燃料価格は上昇**してきている。また、運送業者においては、重大事故の防止、輸送の安全に周知徹底し、安全確保に努めた。

【運輸業 (個人タクシー)】

11月は**平均して好調**だった。

【運輸・倉庫業】

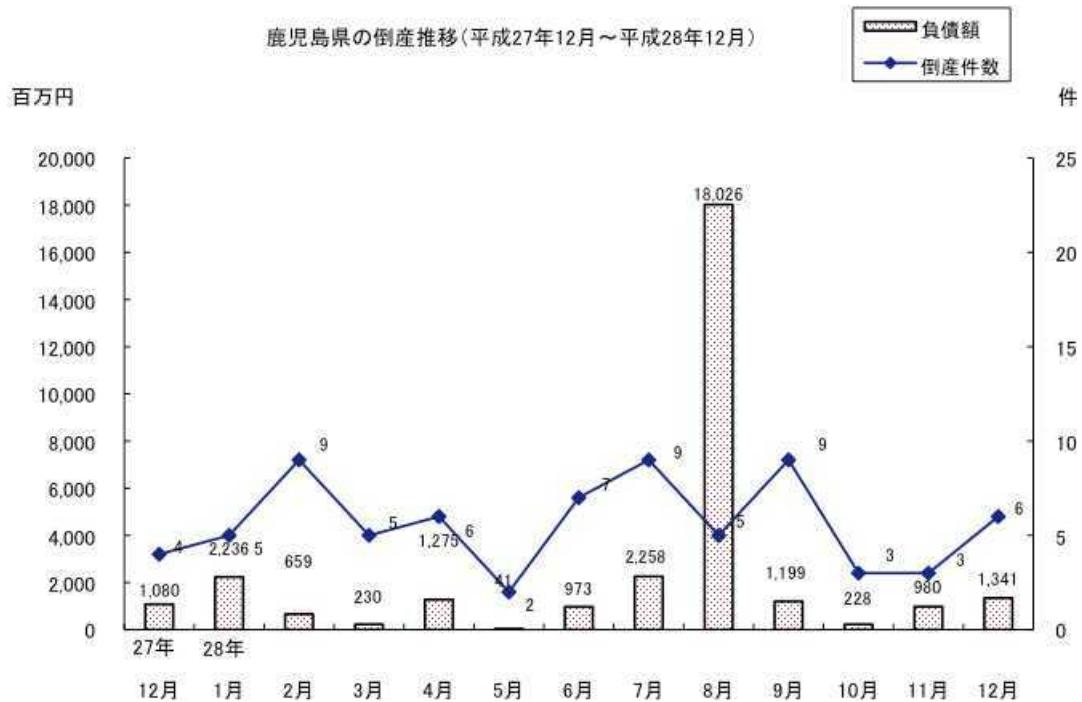
野菜の出荷は例年より10日程遅く量も少なかった。雑貨物は祝日前と月末は動いた。長距離ドライバーの求人は**厳しい状況**が続いている。燃料価格は徐々に上がってきている。

平成28年12月 鹿児島県内企業倒産概況

(負債額1,000万円以上・法的整理のみ)
 (株)帝国データバンク 鹿児島支店

件数6件 負債総額13億4,100万円

〔件数〕前年同月比2件増 〔負債総額〕前年同月比24.2%増



ポイント

～倒産件数、負債総額ともに前月、前年同月を上回った～

- ◆12月の倒産件数は前月より3件多い6件、負債総額は前月と比べ3億6,100万円増加。
- ◆業種別では「サービス業」が6件中3件、その内2件が診療所だった。
- ◆態様はすべて「破産」。
- ◆地域に偏りはない。

【各要因別】

- ・業種別では、「製造業」1件、「小売業」1件、「サービス業」3件、「その他」1件。
- ・主因別では、「販売不振」3件、「売掛金回収難」1件、「その他経営計画の失敗」2件。
- ・資本金別では、「100万円未満」2件、「100万円以上1,000万円未満」4件。
- ・負債額別では、「1,000万円以上5,000万円未満」1件、「5,000万円以上1億円未満」1件、「1億円以上5億円未満」3件、「5億円以上10億円未満」1件。
- ・態様別では、「破産」6件。
- ・業歴別では、「15年以上20年未満」1件、「20年以上30年未満」4件、「30年以上」1件。
- ・地域別では、「鹿児島市」1件、「北薩地区」1件、「南薩地区」1件、「大隅地区」2件、「大島郡地区」1件。

【今後の見通し】

倒産件数は3カ月ぶりに増加、負債総額は2カ月連続増加となった。

帝国データバンク発表の「TDB景気動向調査」によると、12月の鹿児島県内の景気DIは42.7と前月より0.8ポイント改善した。しかし、小規模企業では悪化しており、先行き見通しも3カ月、6カ月が悪化するなど、どの業界も先行きに不透明さを感じている。

九州経済研究所発表の県内景況では、10月の百貨店・スーパー販売は衣料品、飲食料品が下回り、全体では3カ月連続で前年を下回った。観光関連では11月の主要ホテル・旅

館宿泊客数は、関東、九州、香港からの入り込みや個人客が伸びたことで2カ月ぶりに前年を上回った。また同社発表の「2017年度鹿児島県経済見通し」では、経済成長率は1.0%と3年連続でプラスとなる見通しである。

消費動向や投資状況に一部明るい状況も見られるが、短期的、長期的な景況についてどの業界も不透明感を持っており、営業は決して楽な状況ではない。そのため、倒産については継続的に発生するものと思われ、楽観視できない。

平成28年12月企業倒産状況(法的整理のみ)

企業名	業種	負債総額 (百万円)	態様
(有)O	養鶏	74	破産
(医)S	診療所・老人福祉施設の経営	588	破産
(有)T	水産物加工	133	破産
(有)U	手芸品小売	10	破産
(有)H	土木建築サービス	100	破産
(医)H	有床診療所	436	破産
		6件	13億4,100万円

中小企業倒産防止共済制度

経営セーフティ共済

取引先の倒産から会社を守る制度です!

経営セーフティ共済は、取引先事業者が倒産し、売掛金債権等が回収困難になった場合に、貸付けが受けられる共済制度です。「もしも」のときの資金調達手段として当面の資金繰りをバックアップします。

中小企業倒産防止共済制度の特長

- 掛金の10倍の範囲内で **最高8,000万円** まで貸付け
「回収困難となった売掛金債権等の額」と「掛金総額の10倍に相当する額(最高8,000万円)」のいずれか少ない額となります。償還期間は共済金の貸付金額に応じて5年～7年(据置期間6か月を含む)で毎月均等償還です。
- 貸付条件は **無担保・無保証人**
共済金の貸付けは、「無担保・無保証人」「無利子」です。ただし、共済金の貸付けを受けますと貸付額の10分の1に相当する額が積み立てた掛金総額から控除されます。
- 掛金は税法上 **損金(法人)または必要経費(個人事業)** に
掛金月額は、5千円～20万円の範囲内(5千円単位)で自由に選べます。

www.smrj.go.jp/tkyosai TEL:050-5541-7171 (共済相談室)

経営セーフティ共済
検索

中央会関連主要行事予定

組合決算講習会

組合の決算実務について

- 講師
税理士法人さくら優和パートナーズ
税理士 貫見 昌良 氏
- 日時 平成29年2月24日(金)
10:00~16:00(昼食休憩含む)
- 場所 鹿児島市
「鹿児島サンロイヤルホテル」
- 参加料 無料
※ 当日は、「中小企業等協同組合会計基準」と電卓を忘れずにお持ち下さい。
購入を希望される方は、事前にお申込み下さい。購入代金(2,160円)は、講習会当日に受付にて申し受けます。

☆お問い合わせ 組織振興課☆

平成29年2月

9日(木) 15:30	組合事務局講習会 鹿児島市「ホテルリブマックス鹿児島」
15日(水) 13:00	大島地区特別相談会(~16日(木)15:00) 奄美市「大島支庁別館3階会議室」
17日(金) 14:00	IT活用セミナー 鹿児島市「宝山ホール」
21日(火) 14:30	創業・起業セミナー 鹿児島市「かごしま県民交流センター」
24日(金) 10:00	組合決算講習会 鹿児島市「鹿児島サンロイヤルホテル」

平成29年3月

3日(金) 16:45	中央会理事会 鹿児島市「ホテルレクストン鹿児島」
----------------	-----------------------------



表紙・本文中で登場するぐりぶー&さくらとその子供達は
鹿児島県のPRキャラクターです♪

©鹿児島県ぐりぶー・さくら#545

編集後記

明けましておめでとございませう。松の内も過ぎ、あつという間に平常の生活に戻ってしまいました。が、皆さま、年末年始はどのよう過ごされましたでしょうか。

私は元日に学生時代の友人たちと初商へ行きました。特に決めていた訳ではないのですが、何となく毎年同じメンバーで行くのが恒例となり、今年で10年目を迎えました。県外にいる人もいるため、社会人になってからは全員で集まるのはこの日だけです。

お店の開店時間頃待ち合わせをしてすぐ解散し、それぞれ買い物した後にもう一度集合してまたすぐ解散するので、年始の挨拶と簡単な近況報告しかしないという、なんともドライな集まりです。

年を取るごとに友人と集まれる機会が少なくなりました。寂しいですが、久々に再会した時に当時と変わらず気軽に話せると、お互いの絆を感じてなんだか嬉しい気持ちになります。

今年もこれまで知り合った人々、これから知り合う人々との関係を大切にしながら生活していきたいです。

(連携情報課 重村)

今月の表紙

菜の花マラソン(鹿児島県指宿市)



いぶすき菜の花マラソンは、日本で一番早いフルマラソン公認コースの市民マラソンとして、毎年1月の第2日曜日に開催されます。今年は1月8日に開催され、1万4,118人が出場しました。

ランナーは菜の花畑や九州最大の湖「池田湖」、薩摩富士とも称される「開聞岳」などの豊かな自然に囲まれ、住民の沿道での声援や特産品によるおもてなしで励まされながら完走を目指します。



お役立てください県共済



- ◆火災共済
- ◆自動車事故費用共済（まごころ共済）
- ◆生命傷害共済
- ◆医療総合保障共済・傷害総合保障共済
- ◆自動車総合共済（MAP）



県共済

鹿児島県火災共済協同組合

理事長 小正芳史

〒892-0821 鹿児島市名山町9-1(産業会館) TEL (099) 225-4218
 ホームページ <http://www.synapse.ne.jp/kenkyosai> FAX (099) 227-3595

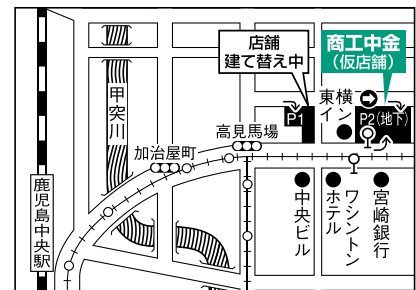
商工中金は、国とともに、
 中小企業をサポートする公的金融機関です。

- 特長その① 長期的な視点で安定したお取引
- 特長その② 中小企業の経営課題に対応する総合的な支援
- 特長その③ 全国と海外のネットワークでビジネスをサポート
- 特長その④ 協調と連携で地域経済の活性化の力に

 **商工中金**

本店 東京都中央区八重洲2-10-17
www.shokochukin.co.jp/

鹿児島支店 099(223)4101
 〒892-0842 鹿児島市東千石町1-38



個人のお客さま向けの定期預金です。

高めの金利設定(当金庫内比較)

固定金利の半年複利(元本保証)

1年、2年、3年から期間が選べる

∥ 安心、確実、お得に増やす ∥



マイナーベスト



有利

掛金は全額非課税

手数料もかかりません

パートさんも
加入できます

事業主と生計を一にする
同居の親族のみを雇用する
事業所の従業員も、次の条件を
満たしていれば加入できます。

- 小規模企業共済制度に加入していないこと
 - 事業主との使用従属関係を確認できる書類の提出が可能なこと
- ※掛金助成の対象となりません。

ご存知ですか？

中退共の退職金制度。

中退共は、半世紀で100万社以上の中小企業が利用する国の退職金制度です。

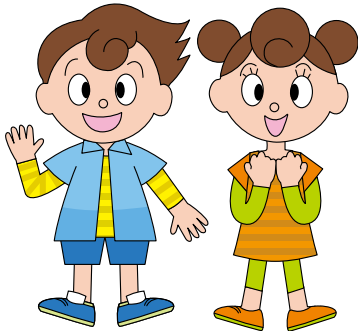
安心

国の制度だから
安心・確実

掛金の助成を
受けることができます

簡単

外部積立型だから
管理がカンタン



詳しくはホームページをご覧ください

中退共

検索

<http://chutaikyo.taisyokukin.go.jp/>

中退共制度のしくみ

① 加入申込

お近くの金融機関等の窓口でお申込みください。事業主が中退共と「退職金共済契約」を結び共済手帳が送付されます。

② 掛金納付

毎月の掛金は全額事業主負担で、口座振替で金融機関に納付します。

③ 支払い

退職した従業員の請求に基づき、中退共から退職金が直接支払われます。

独立行政法人 勤労者退職金共済機構

中小企業退職金共済事業本部

ちゅうたいきょう
略称：中退共



ちゅう太くん きょう子ちゃん

〒170-8055 東京都豊島区東池袋1-24-1 TEL 03-6907-1234 FAX 03-5955-8211

発行所／鹿児島県中小企業団体中央会

鹿児島県鹿児島市名山町9番1号 〒892-0821

発行人／小正芳史 印刷所／株式会社イースト朝日

電話：099-222-9258 FAX：099-225-2904

電話：099-266-5522 FAX：099-266-5523